

石見美術館小中学生入館無料化経費 (石見美術館入館料補助金)

施策のポイント

島根県・島根県文化振興財団・市が協定をかわし、三者が連携して島根県芸術文化センター（グラントワ）内の島根県立石見美術館の年間パスポート料金を正規の1/3に価格を設定し、その経費を益田市が全額負担することで、市内の全小中学生に、いつでも美術館に入りたいときに入れる環境を提供している。

自治体情報

島根県 益田市

人口 / 50,880人

標準財政規模 / 14,317,798千円

担当課 産業経済部文化交流課

電話番号 直通 0856-31-0331 代表 0856-31-0100 内線 333

実施主体 益田市

関連ホームページ <http://www.city.masuda.lg.jp/>

事業期間 平成 21 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

心豊かな人間性を育むためには、就学期の児童・生徒が優れた芸術・文化に触れる機会を数多く持つことが大事である。同時に今後より重要なデザインなど視覚面での感性を養うこともでき、将来を担う子ども達の才能引き伸ばすことで、益田市の文化力が向上し、地域づくりにつながる。

2 取り組みの具体的内容

益田市と島根県立石見美術館との連携により、益田市内の全ての小中学校の在校生徒に対して特別鑑賞券（年間パスポート）を無料配布する。子どもの頃から質の高い美術作品に気軽に接することができる、全国でも珍しい試みである。

益田市にあるグラントワは全国的にもトップクラスの施設であり、その施設の素晴らしさを感じてもらい、益田を堂々と自分の言葉で語れる人間に成長してくれることを期待する。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

市内の全小中学校の生徒が、年1回以上はグラントワを訪れ、一流の美術品を鑑賞することにより、芸術的な感性を身につけることを期待する。

4 現在までの実績・成果

- 平成 21 年度石見美術館入館料 300 円 × 4,151 人 = 1,245,300 円
(全小学生 2,710 人 全中学生 1,441 人)
- 平成 21 年度入館者数 小学生 1,313 人 (48%)
中学生 206 人 (14%)



5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

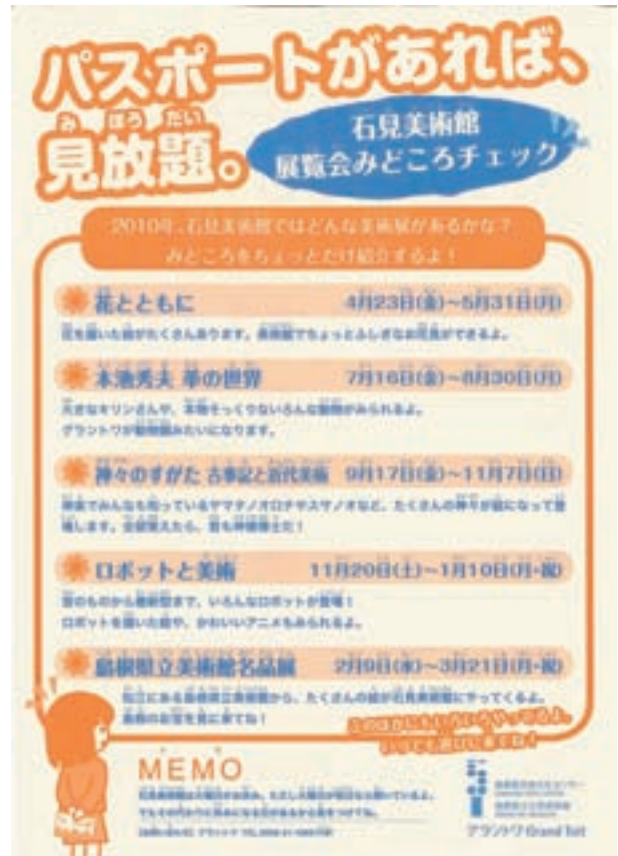
児童・生徒が、学校帰りとか休日など見たい時に気軽に入館できるためには、年間パスポート「益田市特別鑑賞券」は常に携帯できることが必要であり、コンパクトなカード式にした。

「益田市特別鑑賞券」の趣旨や使い方を児童・生徒によく理解してもらうため、年度初めの配付の際に、各学校の先生を通じて説明してもらった。

6 今後の展開と課題

本事業は、グラントワというトップクラス施設を身近なものとして活用することができ、今後も年齢層の拡大を検討しながら継続事業とする。

小学生低学年や遠方の学校生徒は、自分達だけでグラントワに来るのは難しいため、この事業の推進には、家族・保護者の方々の理解と協力が大切になる。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計	財源内訳 (財源区分: ①～⑤)				
	①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
H22: 1,221千円	0千円	0千円	0千円	0千円	1,221千円
①～④の名称、 所管など	名称				
	所管				
	金額				
	補助率				